

研究課題名	初回手術術式別にみた再発鼠径ヘルニアの再発様式と再手術成績に関する後ろ向き多施設共同研究
研究期間	実施許可日 ～ 2028年 3月 31日
研究の対象	2015年4月1日～2025年3月31日の間に広島大学病院消化器外科（外科学講座）もしくは共同研究機関で、再発鼠径ヘルニアの手術治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：診療情報を用いて、再発鼠径ヘルニア症例の実態把握や、初回手術術式別での再発時に対する至適術式の検討を行います。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、手術所見や臨床所見などを集積して解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、既往歴、手術所見、初回手術時の手術所見等 試料・情報の管理責任者：広島大学外科学 高橋 信也
利用または提供を開始する予定日	2025年9月（実施許可日以降）
個人情報の保護	カルテより収集する情報には、氏名・生年月日等の特定の個人を識別できる情報は含みません。収集した情報は定められた書式に記入し、新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	共同研究機関から情報を収集する場合、情報を収集する際は、個人を識別できないよう適切に加工した後、指定された様式に基づき、郵送手段にて広島大学に取りまとめた後、解析します。
研究組織	<p>当院の研究責任者 独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 外科医長 感染症科長 嶋田 徳光</p> <p>研究機関の長 独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 院長 繁田 正信</p> <p>研究代表者 広島大学大学院 医系科学研究科 外科学 教授 高橋 信也</p> <p>共同研究機関 ・ 広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院 腹部救急治療科 主任部長 田崎 達也 ・ 広島市立舟入市民病院</p>

